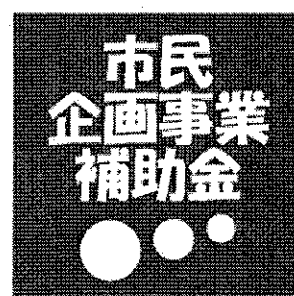


平成22年度
市民企画事業補助金
成果報告書



八王子市

平成23年8月

目 次

| | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 市民企画事業補助金の概要 | 1 |
| 2 | 事業成果報告等の経過 | 2 |
| 3 | 審査委員会委員長講評 | 3 |
| 4 | 交付事業一覧表 | 4 |
| 5 | 事業成果報告 | 5 |
| 6 | 成果報告会アンケート結果 | 76 |
| 7 | 交付団体連絡先一覧 | 80 |

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。

この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

| | A 活動支援部門 | B 事業実施部門 |
|------|--|--|
| 内 容 | この部門では、すでに公益的な活動に取り組んでいる、又はこれから取り組もうとする団体の活動を紹介するために要する経費の補助をします。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。 | この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。 |
| 補助金額 | 必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円) | ① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合は、①とします。 |
| 補助回数 | 同一団体2回まで | 同一の事業に対して3回まで |

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、市民企画事業補助金審査委員会により、応募書類に基づく書類審査、及び公開プレゼンテーション(事業実施部門についてのみ)を行うほか、継続事業については、前年度事業の進捗状況の内容も参考にした上で審査します。

また、審査委員会での審査に先立ち、応募事業の内容に関連する担当部による、面接等での応募書類の確認や事業内容の評価を行い、審査委員会での審査では、その結果やプレゼンテーションでの市民コメントも参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

| 区分 | A 活動支援部門 | B 事業実施部門 |
|-----------------|----------------------------------|--|
| 担当部による 確認・評価 | 1. 公益性 2. 期待度 | 1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ |
| 審査委員審査 | 1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性 | 1. 計画性 2. 社会貢献度 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性 |

※ 本概要は22年度の概要であり、今後変更される可能性があります。

詳細は市のホームページをご覧ください。

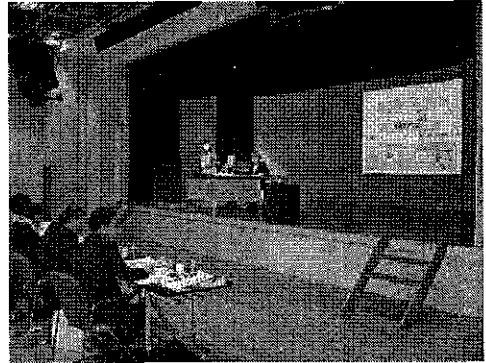
市民企画事業補助金のホームページアドレス:

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

2 事業成果報告等の経過

(1) 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成22年2月6日(土)
10:30~18:30
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 参加団体 31団体
- 審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、審査委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



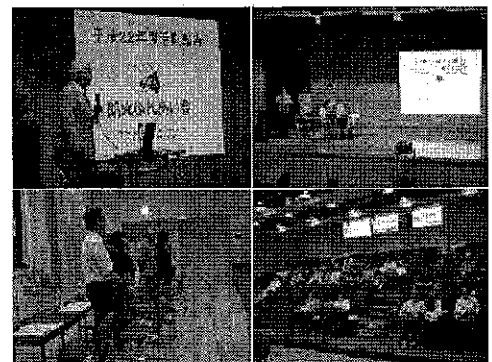
(2) 情報交換会

- 日 時 平成22年11月10日(水)
13:30~16:15
- 場 所 教育センター 大会議室、第1・第2研修室
- 参加団体 20団体
- 団体の抱える問題点の共有や、その解決の糸口を探るため、補助金交付を受けた各団体が一同に会し、情報交換を行いました。



(3) 成果報告会

- 日 時 平成23年6月4日(土)
10:30~16:00
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 報告団体 35団体
- 平成22年度に補助金を受け、実施された事業について、審査委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 審査委員会委員長講評

市民企画事業補助金審査委員会

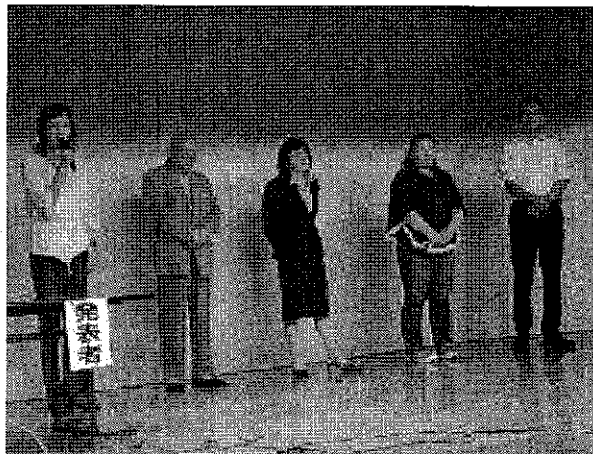
委員長 首都大学東京都市教養学部教授 和田清美

平成22年度市民企画事業補助金交付事業の成果報告会が、去る6月4日（土）午前10時半より、北野市民センターにおいて開催されました。今年度は、活動支援部門11事業、事業実施部門24事業の合計35事業と報告数が多く、止むを得ず、例年より各事業の報告時間を短縮させていただきました。1事業5分という限られた時間の中で、報告は簡潔かつ要領よくまとめられ、予定された時間内にすべての事業の報告を終えることができました。参加団体の皆様のご協力に対し心よりお礼申し上げます。では、以下、審査委員長としての講評を述べさせていただきます。

第一は、本年度の活動支援部門ならびに事業実施部門の活動・事業は、全体として成果があったと評価できます。活動の成果として、多くの団体が、会員の増加数や活動・事業依頼数の増加、活動・事業への参加人数の増加、などをあげて報告されました。このような活動・事業の拡大・発展は本補助金の目的に適った成果であり大変喜ばしいことですが、さらに本年度の特徴は、両部門をとおして、新しい領域のチャレンジともいえる活動や事業がいくつもみられたことです。とりわけ、活動支援部門では少ない補助金を有効に使い、成果をあげている団体が多かったことは特筆に値します。このことは八王子市の市民活動の未来を考えるとときわめて意義深いことであって、審査委員一同大変うれしく受け止めました。

そのうえで、第二は、今後の活動・事業の継続にかかわって、三つの点を指摘しておきます。一点目は、活動・事業運営にかかわる自己資金と人材の確保の問題です。とくに一定の自己資金は、事業実施部門では2年目、3年目の本補助金申請にあたって、その割合が増す事となっていますので、市民団体には自己資金確保の努力をお願いする次第です。その一方で、二点目として、団体の中には2年目、3年目の補助金申請はせずとも、自立した活動が見込まれるとの報告がみられました。本補助金は市民活動・事業の自立を支援する目的で交付されるものですから大変喜ばしいことですが、それには本年度の活動を通して諸団体・諸機関との連携が確保され、団体への信頼が確保されたことが大きいと指摘されました。こうした活動・事業の自立に向けたノウハウを他の市民団体も活用していただくことを期待します。その機会の一つとして本成果報告会が設定されていることも併せて指摘しておきます。三点目は、報告会で多くの団体から出された意見として、本補助金交付によって活動・事業の広報・情報発信が実現し、多くに市民に活動が認知されたことがあげられました。補助金事業はそれぞれに活動・事業の目的により計画が策定され、それに基づいて執行されることは言うまでもありませんが、あらためて市民活動における広報・情報発信の意義を確認させてくれました。

最後に、ここ数年本補助金事業の活動・事業計画が年度中での変更がみられますが、本来活動・事業は計画に基づいて執行されるべきものでありますので、申請時に実行可能な計画を提出していただくことを申し添えておきます。



成果報告会における審査委員講評の様子

4 交付事業一覧表

| | | (単位 円) | | |
|------------------------|----------------------|--|-----------|---------|
| 部門 | 回数 | 事業名 | 補助対象事業費 | 補助金交付額 |
| 活動 支 援 部 門 | 新 | 幼児児童との「防火ふれあい会」 | 137,083 | 100,000 |
| | 新 | 親子で楽しむ陶芸教室 | 121,000 | 100,000 |
| | 新 | わら細工文化の啓発と技術の伝承 | 151,530 | 100,000 |
| | 新 | 自然体験活動に関する事業 | 307,665 | 100,000 |
| | 新 | 会の広報用パンフレットの作成 | 110,693 | 100,000 |
| | 新 | チャーム活動普及事業 | 103,715 | 100,000 |
| | 新 | 楽しい介護予防の音楽セミナー | 158,163 | 100,000 |
| | ② | 「家族で楽しむ物作り」体験教室 | 120,201 | 100,000 |
| | ② | 要約筆記啓発講座 | 101,410 | 100,000 |
| | ② | ポレポジさぼーと | 260,518 | 95,000 |
| ② | メディエーション(和解支援)紹介普及活動 | 87,476 | 73,000 | |
| 事業 実 施 部 門 | 新 | 八王子陵南公園さくら祭り | 1,649,849 | 824,000 |
| | 新 | いきいきときめき 計算大会 | 231,070 | 100,000 |
| | 新 | 生涯学習の集いインかわぐち | 148,145 | 71,000 |
| | 新 | 音楽療法による教育・子育て・地域支援事業 | 401,549 | 200,000 |
| | 新 | 講演と視覚障害者音楽家による演奏会 21世紀の青少年へのメッセージ “未来への夢と努力と” | 1,746,776 | 500,000 |
| | 新 | 地域学からみた八王子像 | 577,090 | 200,000 |
| | 新 | 『絆(～きずな～)の創造』コンサート | 1,877,889 | 755,000 |
| | 新 | 障害者ケアサポートプラン[知的障害者] | 1,614,323 | 807,000 |
| | 新 | 八王子おやし旅券(小冊子)の発行 | 237,966 | 100,000 |
| | 新 | 八王子現代家具工芸学校 | 1,775,149 | 750,000 |
| | 新 | 「知っていますか、長安を・・・」 | 299,365 | 149,000 |
| | 新 | みなみおおさまイラストマップ | 1,036,831 | 400,000 |
| | 新 | 小中学生向け専門家養成講座およびコンテスト | 460,744 | 230,000 |
| | 新 | 大人の女性のゼミ～ママが学んでおきたいこと～ | 322,970 | 161,000 |
| | 新 | HACHIOUJIKKO元気プロジェクト | 591,174 | 295,000 |
| | 新 | はじめてみよう「身近な科学体験」 | 866,631 | 429,000 |
| | 新 | 里親制度を正しく知ってもらうための活動 | 493,949 | 246,000 |
| | ② | デイジー図書の作製 | 182,900 | 59,000 |
| | ② | 認知症：集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる | 891,100 | 297,000 |
| | ② | 絵と語り付きクラシックコンサート | 454,370 | 147,000 |
| | ② | 地球冒険学校交流セミナー | 811,114 | 270,000 |
| | ③ | 夢あるまちづくり | 814,024 | 140,000 |
| | ③ | 親子ふれあいキャンプ2010 | 1,517,731 | 364,000 |
| ③ | 市民参加型 援農活動による農業活性化Ⅱ | 600,324 | 120,000 | |

5 事業成果報告

| | |
|---|----|
| (1) 幼少児童との「防火ふれあい会」 | 6 |
| (2) 親子で楽しむ陶芸教室 | 8 |
| (3) わら細工文化の啓発と技術の伝承 | 10 |
| (4) 自然体験活動に関する事業 | 12 |
| (5) 会の広報用パンフレットの作成 | 14 |
| (6) チャーム活動普及事業 | 16 |
| (7) 楽しい介護予防の音楽セミナー | 18 |
| (8) 「家族で楽しむ物作り」体験教室 | 20 |
| (9) 要約筆記啓発講座 | 22 |
| (10) ポレポジさぼーと | 24 |
| (11) メディエーション(和解支援)紹介普及活動 | 26 |
| (12) 八王子陵南公園さくら祭り | 28 |
| (13) いきいき ときめき 計算大会 | 30 |
| (14) 生涯学習の集いインかわぐち | 32 |
| (15) 音楽療法による教育・子育て・地域支援事業 | 34 |
| (16) 講演と視覚障害者音楽家による演奏会 21世紀の青少年へのメッセージ “未来への夢と努力と” | 36 |
| (17) 地域学からみた八王子像 | 38 |
| (18) 「絆(〜きずな〜)の創造」コンサート | 40 |
| (19) 障害者ケアサポートプラン[知的障害者] | 42 |
| (20) 八王子おやじ旅券(小冊子)の発行 | 44 |
| (21) 八王子現代家具工芸学校 | 46 |
| (22) 「知っていますか、長安を・・・」 | 48 |
| (23) みなみおおさまイラストマップ | 50 |
| (24) 小中学生向け専門家養成講座およびコンテスト | 52 |
| (25) 大人の女性のゼミ〜ママが学んでおきたいこと〜 | 54 |
| (26) HACHIOUJIKKO 元気プロジェクト | 56 |
| (27) はじめてみよう「身近な科学体験」 | 58 |
| (28) 里親制度を正しく知ってもらうための活動 | 60 |
| (29) デイジー図書の作製 | 62 |
| (30) 認知症：集いの場&支援ネットワーク拠点をつくる | 64 |
| (31) 絵と語り付きクラシックコンサート | 66 |
| (32) 地球冒険学校交流セミナー | 68 |
| (33) 夢あるまちづくり | 70 |
| (34) 親子ふれあいキャンプ2010 | 72 |
| (35) 市民参加型 援農活動による農業活性化Ⅱ | 74 |

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価を紹介していますが、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

| | | | | | |
|-----|------------------|---|------|-----------|---|
| 事業名 | 幼少児童との「防火ふれあい会」 | | | | |
| 団体名 | 防火支援ボランティアFOB八王子 | | | | |
| 事業費 | ¥ 137,083 | 円 | 補助金額 | ¥ 100,000 | 円 |

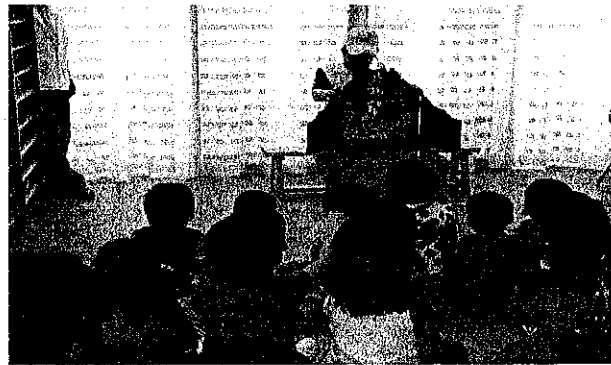
| | |
|----------|---|
| 事業の目的・内容 | <p>目的</p> <p>幼少児童の防火・防災の育成が時代の流れとともに家庭や周りの大人の関心が薄れてきているなかで、これからの「家庭の防火・防災、地域の安全・安心」の担い手となる幼少児童の防火育成がますます重要となることから、児童とふれあいながら防火育成の一助となるような支援活動を行う。</p> |
| | <p>内容</p> <p>市内の幼稚園や保育園に出向いて、消防OBが防火・防災の体験等をもとに「防災カード遊び」や「防火紙芝居」などを行い、楽しみながら防火の心や命の大切さなどを学んでもらうと共に保護者に「家庭自主防火診断」票を配布して診断を行うことにより各家庭の防火意識を高めてもらう。</p> |

| | |
|---------|--|
| 事業の活動実績 | <p>1 市立保育園（17施設）、私立保育園（70施設）、私立幼稚園（31施設）を対象に「防火ふれあい会」の広報チラシ、開催申込み書を配布すると共に市立保育園園長会議、私立保育園協会の総会、定例会、私立幼稚園協会定例会に出席して活動内容や利用方法等の説明を行った。その他開催事前打合せ等出向 5施設</p> <p>2 「防火ふれあい会」の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数 16施設（全施設でアンケートを実施した） ・参加者（児童及び職員） 1,400人 ・「家庭自主防火診断」票配布数（保護者、職員）2,170部、（町会等）350部 <p>3 「防火ふれあい会」を継続活動として出来るだけ多くの施設で実施出来るように、各施設の23年度の年間行事計画作成前に検討して貰うため2月の園長会議及び定例会に出席して説明を行った。</p> |
|---------|--|

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



| | |
|----------|---|
| 事業の成果・効果 | <p>1 「防火ふれあい会」は初年度で6月からの活動であったが、計画以上の実施件数と参加者も多く好評であった。</p> <p>2 児童の防火育成だけでなく「家庭自主防火診断」票を配布して各保護者の防火意識を高めることで、家庭での防火育成面でも相乗的な効果が期待できる。</p> <p>3 実施した全施設で行っているアンケートで、新しい取組みで幼児が興味深く見たり、聞いたり、質問したり幼児参加型で楽しみながら学べ、今後の防火育成の良いきっかけとなった等の多くの感想や意見のほか、実施した全施設で今後も利用したいとの回答があり、継続活動の必要性を強く感じている。</p> <p>4 22年度の実施状況から口こみ等により実施施設が多くなり、今後は各施設の年間行事のなかで「防火ふれあい会」が幼少児童の防火育成の一環として定着し広まることが期待できる。</p> |
|----------|---|

| | | |
|------|----------------------------|---|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | 1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) ・実施計画段階では企業等からの寄付金を予定していたが、ボランティア活動の趣旨に合わないとして中止したため、出来るだけ支出を抑え主に活動に必要な教材費や活動衣 (ベスト、帽子) 購入費にあてたため。 |
| | その他、評価すべき点等 | 1 ボランティア活動として各施設から感謝され、実施後のアンケートで「非常に良い」の評価を12施設 (2/3以上) から受けている。 2 不足資金を全会員からの協力金で活動が実施できたこと・ |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

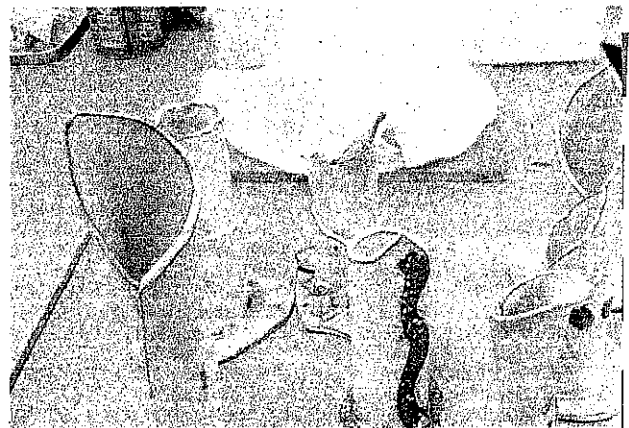
| | |
|---------|---|
| 今後の事業展開 | <p>1 アンケート結果を参考に教材や実施方法などを検討して一層充実した「防火ふれあい会」として継続し広めていきたい。</p> <p>2 市内全域の施設を対象としているため、幅広い各地域からの会員増加を図りたい。</p> <p>3 「防火ふれあい会」を継続活動として実施するため、経費調達方法などを検討して予算面で持続可能なボランティア活動として取り組んでいきたい。</p> |
|---------|---|

平成 22 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

| | | | |
|-----|---------------------|------|-----------|
| 事業名 | 親子で楽しむ陶芸教室 | | |
| 団体名 | 特定非営利活動法人 発達支援の会—未来 | | |
| 事業費 | 121,000 円 | 補助金額 | 100,000 円 |

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・内容 | 目的 粘土をこねる事は、手先を刺激し心の安定と解放をもたらす。ハンディを持つ子どもやその家族に、身近では簡単に接する事ができない陶芸を体験することにより、親子で楽しい時間を共有しながら子どもの興味が広ろげ、意欲的に物事に取り組む経験を増やし、より良い社会生活、集団生活が送れることを目的としながら親子を支援する。 |
| | 内容 幼児から中学生までの子どもが親子で参加し、陶芸についての簡単な基礎知識を学びながら直接粘土に触れ、その心地よさを味わい、想像力を養う。 |

| | |
|---------|---|
| 事業の活動実績 | <p><第1回目> H22. 7. 25 午前の部・・・8家族 13名参加 午後の部・・・7家族 15名参加 *はじめに、粘土を扱うときの基礎知識を学ぶ。 器作り・・・粘土に空気はいらないように丸くしてから中心に親指で穴を開け広げていく。</p> |
| | <p><第2回目> H22. 10. 24 午前の部・・・9家族 17名参加 午後の部・・・6家族 17名参加 *2種類の粘土を用意して、それぞれの特徴を説明。 自分の好みの粘土を選び、お皿や器を作る。</p> |
| | <p><第3回目> H23. 2. 20 午前の部・・・7家族 15名 午後の部・・・6家族 14名 *トレットペーパーやラップの芯を利用して花器を作る。</p> |



| | |
|----------|--|
| 事業の成果・効果 | <p>初めての場所ではじめての経験をする子どもたちは、落ち着かない様子で、先生の言うことを集中して聞くことが困難な子もいた。自信のなさから自分で作ろうとせずにお母さんに任せる姿もみられた。しかし、回を重ねるにつれて緊張した表情も和らぎ、自分の作りたいように粘土をこねたり、たたいたり、絵を刻んだり作品づくりを楽しむことができた。</p> <p>陶芸は、粘土をこねることで得られる心の開放と、焼きあがった作品で得られる大きな喜び、そして生活の中で作品を使うことによる成功体験が自身につながり、子どものやる気を引き出すと考えていたとおりに効果が得られた。講師の適切な指導は、子どもたちの想像力や意欲を十分に引き出すことができた。</p> <p>「自分で作ったお茶碗でご飯を食べた」という会話は周囲を明るく刺激し、初対面だった親同士も子どもたちの楽しそうな様子に少しずつ打ち解けあい会話するようになり、親子で楽しい時間を共有できた。</p> <p>この度、八王子市から頂いた補助金で実施できた陶芸教室は、遠くからの参加者も多く、皆さんに喜んでいただき、「未来」の宣伝効果は十分にあったのではないかと感じている。</p> |
|----------|--|

| | | |
|------|----------------------------|--|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | <p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | <p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | <p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> |
| | その他、評価すべき点等 | |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

| | |
|---------|---|
| 今後の事業展開 | <p>陶芸は、奥が深く続けていくことでより高い成果、効果が上げられるため、この事業を継続的に行なっていきたい。</p> |
|---------|---|

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | わら細工文化の啓発と技術の伝承 | | |
| 団体名 | わら細工の会 円座 | | |
| 事業費 | 151,530円 | 補助金額 | 100,000円 |

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・内容 | <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わら細工の技術を伝承し、次世代に伝えていく。 ・会の活動を広く知ってもらい、仲間を増やす。 ・夏休み親子体験教室や正月のしめ縄講習会の開催で、幅広い年代の方と物づくりを通して交流を図る |
| | <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回の体験講習を開催 ・2か月ごとに、わら細工の伝承意義や、その月の製作予定、日程のチラシを作り、市の関係機関に置いてもらい、会の宣伝をし、参加を促した。 |

| | | |
|---------|-------------------|----------------------|
| 事業の活動実績 | 4/10 体験講習開催 10人参加 | 11/10 体験講習会 15人参加 |
| | 5/8 体験講習会 9人参加 | 12/5 正月しめ縄体験 22人参加 |
| | 5/19 体験講習会 12人参加 | 12/15 体験講習会 13人参加 |
| | 6/12 体験講習会 11人参加 | 1/15 体験講習会 15人参加 |
| | 6/16 体験講習会 10人参加 | 1/26 体験講習会 15人参加 |
| | 7/10 体験講習会 11人参加 | 2/9 体験講習会 12人参加 |
| | 7/21 体験講習会 10人参加 | 2/19 体験講習会 15人参加 |
| | 8/14 体験講習会 10人参加 | 3/12 体験講習会 4人参加 |
| | 8/18 体験講習会 9人参加 | 3/23 体験講習会 8人参加 |
| | 8/22 夏休み親子体験 | 以上 計24回の体験講習を実施しました。 |
| | 大人12名、小人15名参加 | ・9月22日～28日 作品展示会 |
| | 9/4 体験講習会 10人参加 | 村内ファニチャーアクセスにて開催 |
| | 9/15 体験講習会 12人参加 | ・12月13日 南口市役所ロビー展に参加 |
| | 10/9 体験講習会 12人参加 | 「会」の宣伝をしました。 |
| | 10/27 体験講習会 20名参加 | |
| | 11/6 体験講習会 8人参加 | |



様式9 (2枚目)

| | |
|----------|---|
| 事業の成果・効果 | <p>チラシ効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か月毎に、体験講習での製作予定の作品、会場、日程を書き込んだチラシを作り市の関係機関に置いてもらうことによって、「会」の存在や、「会の活動」を知ってもらうことが出来た。 ・チラシやポスターで作品の写真を載せたり、カリキュラムを明示したことで「作りたい」「昔が懐かしい」「孫に教えたい」という参加者が増えた。 <p>会場を毎月2回のうち、1回を八王子駅近くのクリエイトホール、もう1回を駐車場のある市民センターなどを選んだので、興味のある方が、参加しやすい状況になった。体験希望者が少なく、会場費も賄えないという不安が無くなった。</p> <p>体験された方が作品を持ち帰り、家族や友人に見せたり、話すことによって、少しでも先人の知恵や技術が伝承されたと思う。</p> |
|----------|---|

| | | |
|------|----------------------------|--|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | 1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 体験参加者が多く集まり、事業による収入が増えた。 チラシを2か月ごとに作り、配布したので印刷製本代がかかった。 会場を安価なところ、無料のところを利用したので安く済んだ。 材料(わら)の高騰があった。 |
| | その他、評価すべき点等 | 参加者が予想より多く、収入があった。 「市民活動通信」に掲載してもらうことによって、認知度が広まり、参加者の増加があった。 |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

| | |
|---------|--|
| 今後の事業展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に体験講習の開催を継続していく ・学校、子ども会、地域のグループなどのボランティア活動に参加し、伝承技術としての「わら細工」への関心を深めたい。 ・会員を増やして、そのつながりで、わらの調達や体験イベントの開催、作品販売を展開していけたらと願っている。 |
|---------|--|

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

| | | | |
|-----|-------------------|------|-----------|
| 事業名 | 自然体験活動に関する事業 | | |
| 団体名 | 滝山ネイチャークラブ | | |
| 事業費 | 307,665 円 | 補助金額 | 100,000 円 |

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・内容 | 目的 八王子の身近な自然を親子で体験し、気づきや発見を促し、心の内面の成長を期待する。 自然に親しみ、人と関わる中で、自信を持って積極的・主体的に社会や自然に働きかけていく人材を育成する。 |
| | 内容 自然体験活動に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) 親子で楽しむ自然体験活動 (2) 子育て支援事業『ひとり親家庭のためのデイキャンプ』 (3) 食べる・遊ぶ・楽しいをテーマにした食育の体験活動『滝山 食育体験』 (4) 環境教育に関する事業 『滝山ホタレンジャー』 |

| | |
|---------|--|
| 事業の活動実績 | <p>下記の日程で、親子の自然体験活動を企画・実施いたしました。</p> <p>4月25日「親子で自然体験」(八王子市子どもキャンプ場) 5月9日、23日、6月6日、20日「滝山ホタレンジャー」(八王子市高月用水) 8月15日「ブルーベリー狩りに挑戦!」(八王子市梅坪町山田農園) 8月29日「ひとり親家庭のためのデイキャンプ」(八王子市子どもキャンプ場) 10月24日「滝山冒険ひろば」(東京純心女子大学) 12月19日「ひとり親家庭のためのデイキャンプ」(高尾の森わくわくビレッジ)</p> <p>なお、自主事業として7月25日「川遊びに挑戦!」(あきる野市落合キャンプ場)、 9月23日「マス釣りに挑戦!」(あきる野市養沢フィッシングランド)、2月6日「AED 講習会」(恩方市民センター)、2月20日「滝山 森のようちえん体験会」を実施いたしました。</p> <p>※「川遊びに挑戦!」および「マス釣りに挑戦!」については会場手配の都合から、市外で実施したため、自主事業の扱いとしました。</p> |
|---------|--|



| | |
|----------|--|
| 事業の成果・効果 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 全11回の自然体験活動を実施できたこと。 2. のべ83人の参加者が八王子の身近な自然体験活動に参加したこと。 3. 子どもたち、及び保護者の心の内面の気づきや発見を促すことが出来たこと。 4. 親子のスキンシップがはかれたこと。 5. 八王子の身近な自然を紹介できたこと。 <p>当クラブは、親子の自然体験にこだわり、親子のふれあいやスキンシップを重視しています。それは、自然の中での感動体験を親子で共有してほしいという願いと、環境教育は親世代も巻き込んでいきたいという思い、そして親子で参加することでいろいろな方と交流し、子育ての負担感を軽減し、子育て支援につなげたいとの思いからです。特にひとり親家庭のためのデイキャンプでは小平市や世田谷区からも参加者があり、潜在的なニーズと強い期待が感じられました。</p> <p>また今年ではセーフティーアウトドアの普及啓蒙活動として、ライフジャケットを着た安全な水辺の活動も展開することが出来ました。</p> <p>東京純心女子大学での活動は大学や関係者とのネットワークが広がり、また学生さんのボランティアを採用することで、現場の実習にもつながったのではないかと思います。</p> <p>また、自主事業として森のようちえん体験会を開催出来たことは次年度以降の事業展開にはずみがありました。</p> |
|----------|--|

| | | |
|------|----------------------------|---|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | ①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | 1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | 1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) キャンプ等で使用する物品を購入したため、消耗品費が大きくなった。 ボランティア謝礼の金額を上げたため、謝礼・報酬費が大きくなった。 |
| | その他、評価すべき点等 | 計画した事業以外に自主事業としてAED講習会、森のようちえん体験会を開催できたこと。 |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

| | |
|---------|--|
| 今後の事業展開 | <p>森のようちえん事業を進め、地域に根ざした自然体験活動、子育て支援活動を展開していきたい。参加対象としては特にひとり親家庭のための事業を継続し、広く都内全般から受け入れたい。指導者養成事業として滝山自然学校の活動を広げ、救急講習、スキルアップ講習、リスクマネジメントセミナー等充実させていきたい。</p> |
|---------|--|

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

| | | | |
|-----|----------------|------|----------|
| 事業名 | 会の広報用パンフレットの作成 | | |
| 団体名 | めじろ台安心ねっと | | |
| 事業費 | 110,693円 | 補助金額 | 100,000円 |

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・内容 | 目的 「めじろ台安心ねっと」平成20年6月に発足したばかりで、活動拠点であるめじろ台地域においてもまだ知名度が低く、会の活動に当たって地区内外の一般住民や組織の賛同、参加を促すための必要な手段としてパンフレットを利用し、認知度を高めたい。 |
| | 内容 会の理念、具体的な活動内容、キャッチフレーズを簡単、明瞭に織り込み、一般の人にわかり易いパンフレットを作成して、会員勧誘や一般住民の認知、会の紹介が出来るようにする。 |

| | |
|-------|--|
| 事業の実績 | <p>4月20日・同種の他のパンフレットを元に概略の見積を取る。</p> <p>4月26日・総会においてパンフレット作成の予算、手順等を説明、パンフレット委員会設置を決定。</p> <p>4月29日・定例委員会にてパンフレット担当者を決める。</p> <p>5月23日・第1回パンフレット委員会でパンフレットに載せる項目を検討。</p> <p>6月12日・第2回パンフレット委員会でパンフレットに載せる項目の配置を検討。</p> <p>7月9日・第3回パンフレット委員会でパンフレットの概要を検討、決定。会キャッチフレーズ募集。</p> <p>7月10日・第4回パンフレット委員会で、参考の為、収集した各種パンフレットを提示し、用紙等を検討。</p> <p>8月8日・第5回パンフレット委員会で、再度各自検討したパンフレット案を提示、検討。</p> <p>9月14日・第6回パンフレット委員会で、パンフレットに記載する会キャッチフレーズを検討、案が少なく再度募集。</p> <p>9月20日・第7回パンフレット委員会で、パンフレットに記載する会キャッチフレーズを検討、決定。 キャッチフレーズは「いきいきと安心して暮らせる街をめざして」</p> <p>10月8日・第8回パンフレット委員会で、キャッチフレーズをもとに、記載文案、イラストを検討。</p> <p>10月12日・第9回パンフレット委員会及び全体委員会で、検討案を提示。</p> <p>10月24日・第10回パンフレット委員会、全体委員会で、記載要望あった文案、イラスト等を検討。</p> <p>11月10日・第11回パンフレット委員会で、パンフレット案ほぼ決定。</p> <p>11月16日・第12回パンフレット委員会で、パンフレットの全体のカラーについて検討。</p> <p>11月18日・第13回パンフレット委員会で、パンフレットのイラスト修正について検討。</p> <p>11月20日・第14回パンフレット委員会で、イラスト、パンフレットの全体のカラーについて決定。</p> <p>11月22日・見積依頼・・・2社相見積もり・・・第14回パンフレット委員会でほぼ決定した案による。</p> <p>12月9日・見積及び試し刷り3種類受取。</p> <p>12月10日・第15回パンフレット委員会で、試し刷りのカラー及び業者、金額決定。業者に連絡。</p> <p>12月28日・パンフレット印刷完了納品、支払い。</p> |
|-------|--|



パンフレット案を検討



パソコンで、パンフレット案を説明

様式9 (2枚目)

| | |
|----------|---|
| 事業の成果・効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 会が発足してまだ2年、会の役員においてさえ、会の行動内容には漠然とした考えであったり、統一した考えが不足していたが、方向性が委員間に定まってきた。 ・ 度重なる委員会活動で、委員全員が会の活動目的、理念を理解し、一人ひとりが会での活動を今後積極的に進めて行こうという意識が高まった。 ・ 委員間での連携が強まった。 ・ めじろ台各町会に配布することにより、高齢者福祉受託団体であることを更に認識して頂いた。 ・ 会のサロン活動に参加した一般住民に配布し、説明すると活動内容への理解が深まり、会員になりたい人が増えてきた。 ・ このパンフレットを持参することにより、関係各所に行きやすくなった。(今後さまざまな団体、医療機関、福祉施設、福祉関係者、地域包括支援センター、周囲の商店とも大いに連携を保って行く予定である) |
|----------|---|

| | | |
|------|----------------------------|---|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3, 4と答えた場合のみ) |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3, 4と答えた場合のみ) |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | 1 ほとんどおなじ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2, 3と答えた場合のみ) <ul style="list-style-type: none"> ・ 当初計画では11月初旬に案を決定、中旬には印刷予定であったが、決定や印刷が12月にずれ込んだ。 ・ 当初はパンフレット挿入のカットや文字の配置等、印刷会社に委託する予定であったが、費用が高くなるので、カットのソフトを購入して自分達で行い、電磁情報を提供して印刷三つ折のみ印刷会社をお願いした。 ・ 委員のみでデザイン等作成したので印刷費用を少なくすることが出来た。 |
| | その他、評価すべき点等 | 10数回のパンフレット委員会の会合で、会の理念や、今後進めて行く方向が委員内で十分に認識され、更に結束力も強まった。 |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

| | |
|---------|--|
| 今後の事業展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後このパンフレットを利用することにより、気安く一般住民や高齢者に呼びかけ、会の理念である「めじろ台地域の住民が高齢期においても、安心・安全・快適に暮らして行けるような条件を検討し、その実現のために必要な行動をとる」を具体的に実践してゆけるよう努力して行きたい。 ・ パンフレットを利用して一般会員の増強、寄付金のお願い等を積極的に行い、会の財政的基盤を整えて行きたい。 ・ 各種会合等にパンフレット配布を通して他の組織と知合い、情報交換や連携を保ち、高齢者対策の輪を広げて行きたい。 |
|---------|--|

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

| | | | |
|-----|---------------------|------|----------|
| 事業名 | チャーム活動普及事業 | | |
| 団体名 | ハートフルメイクボランティア・チャーム | | |
| 事業費 | 103,715 円 | 補助金額 | 100,000円 |

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・内容 | <p>目的 チャームは、高齢者施設やサロンなどを訪問して、美容ボランティアとしてマッサージやメイクのアドバイスを行うことで高齢者の心を癒す活動を行っている。しかし、チャームは平成21年に発足したばかりで知名度が低いため、福祉関係者や地域住民にチャームの存在と活動内容を紹介し賛同を得ることで活動の普及をはかる。</p> |
| | <p>内容 (1) 高齢者施設、サロン、自治会で体験型デモンストレーションを実施。 (2) 活動を紹介するパンフレットを作成。 (3) PR活動</p> |

| | |
|---------|---|
| 事業の活動実績 | <p>(1) 体験型デモンストレーション実績</p> <p>① めじろ台会館 (4月29日) ハンドマッサージ、ネイル体験 参加者：24名 ボランティア：10名 (うち美容師1名)</p> <p>② ノナ柚木坂A会場 (6月13日、7月25日、9月20日) メイクデモンストレーション、ハンドマッサージ、ヘアセット 参加者：44名、ボランティア：26名 (うち美容師3名)</p> <p>③ 寺田ホットサロン会場 (10月22日) ハンドマッサージ 参加者：17名、ボランティア：7名</p> <p>④ 特別養護老人ホーム檜の里 (11月14日他計5回) メイクデモンストレーション、ハンドマッサージ、フェイスマッサージ、ヘアセット 参加者：83名、ボランティア：50名 (うち美容師8名)</p> <p>(2) パンフレット作成 チャームの活動内容、体験内容、申込方法などを記載したパンフレットを1500部作成。3月16日に完成、納品。</p> <p>(3) PR活動 10月16日：第7回生涯学習フェスティバル「市民フォーラム」にてパネリストとして活動事例の発表</p> |
|---------|---|



高齢体験の内容及び時間

- 体験型デモンストレーション
高齢者施設やサロンなどを訪問して、美容ボランティアとしてマッサージやメイクのアドバイスを行うことで高齢者の心を癒す活動を行っている。
- パンフレット作成
チャームの活動内容、体験内容、申込方法などを記載したパンフレットを1500部作成。3月16日に完成、納品。
- PR活動
10月16日：第7回生涯学習フェスティバル「市民フォーラム」にてパネリストとして活動事例の発表

チャームの活動体験を
紹介しています

- 高齢者施設やサロンなどを訪問して、美容ボランティアとしてマッサージやメイクのアドバイスを行うことで高齢者の心を癒す活動を行っている。
- パンフレット作成
チャームの活動内容、体験内容、申込方法などを記載したパンフレットを1500部作成。3月16日に完成、納品。
- PR活動
10月16日：第7回生涯学習フェスティバル「市民フォーラム」にてパネリストとして活動事例の発表

| | |
|----------|--|
| 事業の成果・効果 | <p>今回の事業での成果・効果は次の点である。</p> <p>(1) 多くの方にチャームの活動を紹介できた。 デモンストレーションを生き生きサロン、自治会、高齢者施設などで実施し、体験した高齢者からは気持ちが明るくなったという感想をいただき、美容ボランティア活動の効果を理解していただけたことは良かった。 また、生涯学習フェスティバルに参加しデモンストレーションの様子を紹介したことは、多くの人にアピールできて効果的であった。</p> <p>(2) 活動にかかる費用について理解を得られた デモンストレーション開催に協力してくれた施設、団体が活動内容を評価して下さり、活動に伴う費用の負担に理解をしていただけたことは今後の運営に大きな成果であった。</p> <p>(3) 会員数が増えた 体験をきっかけに活動に共感して入会してくれた方がいて、会員が増えた。</p> <p>(4) パンフレットを作成した。 チャームの活動をわかりやすく説明したパンフレットができた。誰もが美容体験をイメージしやすくなり体験申し込みやすくなった。</p> |
|----------|--|

| | | |
|------|----------------------------|---|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | 1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) デモンストレーション用消耗品費が計画より多くかかった。会議等の会場使用料は無料の場所を利用したため計画より少なくなった。 |
| | その他、評価すべき点等 | デモンストレーションを複数回開催した施設では、準備や費用負担に協力的であり、また毎回参加を楽しみにしている方もいて活動に対する満足度、期待度が高いことを感じた。 |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

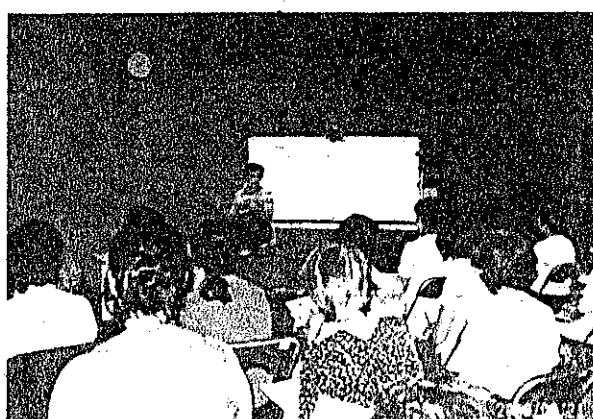
| | |
|---------|---|
| 今後の事業展開 | <p>パンフレットを配布して活動を広める。 美容ボランティア養成講座を実施して会員数を増やす。 参加費をいただく。</p> |
|---------|---|

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

| | | | |
|-----|----------------|------|-----------|
| 事業名 | 楽しい介護予防の音楽セミナー | | |
| 団体名 | 八王子音楽療法研究会 | | |
| 事業費 | ¥158,163円 | 補助金額 | ¥100,000円 |

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・内容 | <p>目的： 八王子は高齢者が多いです。この地域の中で、まだまだお元気で過ごしていただくには「心と身体の活性化」が必要です。それには介護予防にも音楽療法がピッタリであることを、今までのセッションの経験より強く感じます。ここに「脳の活性化」を目的に、この講座を開催し又、「リーフレット」を作ることによって会のPRを行います。</p> |
| | <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究会をPRする「リーフレット」を作成します。 2. 「楽しい介護予防の音楽セミナー」(高齢者の音楽療法)を8月と11月の2回セミナーを開催しました。内容は「講話と実践」を行ないます。「講話」は「高齢者の心身の機能」について医学的、心理学的、福祉学的に分かり易く話し、「実践」は歌、楽器、手話、手遊び、軽い運動、車いす用民謡、ゲーム、トーク等、施設、病院にて楽しく行ないました。 |

| | 月・日 | 活 動 | 参加数 |
|---------|----------------|--|-----|
| 事業の活動実績 | 平成22年 8月21日 | <p>会場：いちょうホール第2練習室</p> <p>内容：「介護予防と医学について」</p> <p>高齢者の身体機能低下に伴う留意点について医学的な面より講師の話と、手、足の運動を、民謡や歌や楽器で楽しく行いました。皆自分のための介護予防と思って頑張っていました。</p> <p>講師：渡辺要一先生(理学療法士)</p> | 42人 |
| | 11月20日 | <p>会場：いちょうホール第2練習室</p> <p>内容：「介護予防の音楽」の実践の現場で講師の指導の下に、歌あり楽器あり、手話、ゲーム、車いす用民謡等を楽し行いました。事後に反省会を行い、「高齢者の音楽療法」が「介護予防の音楽」に、いかに応用できるかを話し合いました。</p> <p>講師：新井 幹先生(音楽療法士、元大学特任教授)</p> <p>この研究会を通して、皆、「介護予防の音楽」を切実に考え、反省会レポート共に、非常に実感のこもった良い研究となりました。</p> <p>リーフレットは時間的な問題から作成ができませんでしたが、団体の封筒やチラシ、手紙等により、会のPR活動を行いました。</p> | 41人 |



様式 9(2 枚目)

| | |
|----------|---|
| 事業の成果・効果 | <p>事業全体を通じて、会のPRを行う事が出来ました。 また、その他の効果として以下に記します。</p> <p>1. 介護予防の音楽を行うことにより、孤独で家にいた老人も変って来たと言われました。それは種々の音楽療法により、まず性格が明るく開放的になり、友人が出来て話をするようになりました。これは一大成果だと思います。今後はより多くの人に、この利点を広め、コミュニケーションを高めて、老後を楽しく生きて欲しいと思います。</p> <p>2. 参加者の感想文より</p> <p>A. 大変有意義な講義で、私の知らない世界だったので、とても充実した時間です。手話や手遊びも楽しみながら、脳の活性化にもなり、介護予防になり、良い勉強をしました。</p> <p>B. 今まで音楽は聞くだけと思っていましたが、OT, PT, STなどの内容もプラスされていると思います。そこに奥深さを感じます。もっと自己啓発をしなくてはと思います。</p> <p>C. 私もこれから行く道、そんなに遠くないので感無量です。</p> <p>D. 音楽療法は単なるリクレーションとは違い、こんなに心を奥深くまで開放し豊かな気分にしてくれるとは知りませんでした。</p> <p>E. 先生の一言一言で利用者の表情、動作が変化していくのが不思議でたまりません。私も母の介護のため、もっともっと研究していくつもりです。教えてください。頑張ります。等いろいろありました。</p> |
|----------|---|

| | | |
|------|----------------------------|---|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた。 | <p>1. できた ②. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. 殆ど出来なかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3と4と応えた場合のみ)</p> |
| | 事業の実施によって、期待した効果を挙げる事が出来た。 | <p>①. できた 2. 概ねできた 3. あまりできなかった 4. 殆ど出来なかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3と4と応えた場合のみ)</p> |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について。 | <p>1. 殆どおなじ ②. 多少の変更があった 3. 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2と3と応えた場合のみ)</p> <p>リーフレットの作成が出来なかったが、その分会のPRをするための費用として、印刷製本費や通信費がかかった。</p> |
| | その他、評価すべき点等。 | <p>感想文やアンケートにもありますが、利用者様(施設、病院)や、応用している本人、家族に、少しずつ効果があるので、更にやっていきたいと、参加者からの事業継続の声は多いです。</p> |

| | |
|---------|---|
| 今後の事業展開 | <p>1. 介護予防の音楽(高齢者の音楽療法)の有効性とは次の4つに効果を求めています。</p> <p>(1) 健康保持と疾病や障害の予防 (2) 心身の機能改善 (3) Quality of Lifeの向上 (4) 治療プロセスへの実践(医学における)です。</p> <p>2. ここに高齢者、障害者(児童)の人達が、人生を楽しく明るく過ごせるように、この音楽療法を通して有効性を広めていきたいと思っています。そのためにも、もっと一般の人に理解していただけるように、出前音楽療法、出張音楽療法の方法を行います。又後継者の養成と、事業の発展に、微力ながら努力していきたいと思っています。</p> |
|---------|---|

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

| | | | |
|-----|---------------------|------|----------|
| 事業名 | 「家族で楽しむ物作り」体験教室 | | |
| 団体名 | 特定非営利活動法人 建物相談室 五色会 | | |
| 事業費 | 120,201円 | 補助金額 | 100,000円 |

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・内容 | <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「家族で楽しむ物作り」体験教室を通して、共同作業・人間関係・コミュニケーション等、また使用材料を通して自然と生活環境を考え、エコについても興味を持って考えてもらうこと。 ●事業を行うことにより、その折り補助金で制作したパンフレットをお渡しし活動内容を説明することにより、参加者の皆様方に我々NPO 法人五色会の存在と活動目的を理解して頂くこと。 |
| | <p>内容</p> <p>光る泥団子作り・モザイクタイルコースター作り・手作り木工品などの体験教室を、できるだけ自然環境の良いところで開催します。</p> |

| | |
|---------|--|
| 事業の活動実績 | <p>平成22年8月29日(日) 参加者 23名</p> <p>平成22年11月7日(日) 参加者 12名</p> <p>大谷ガラス店様の敷地をお借りして「光る泥団子・モザイクタイルコースター作り体験教室」を開催致しました。</p> <p>2月に予定していた体験教室は天候不順により、残念ながら中止となりました。</p> <p>●定期定例会の開催(毎月第3火曜日) 19:30~</p> |
| | <p>H22 4月 参加者6名 活動事業内容の精査および予算組</p> <p>5月 参加者5名 活動事業内容の段取り</p> <p>6月 参加者7名 材料の確保状況や会場の打合せ</p> <p>7月 参加者5名 会場段取り、使用材料の性質などの講習</p> <p>8月 参加者6名 事前打ち合わせ</p> <p>9月 参加者7名 反省会</p> <p>10月 参加者8名 事前打ち合わせ</p> <p>11月 参加者6名 反省会</p> <p>12月 年末繁忙期のため中止</p> <p>H23 1月 参加者6名 23年度の活動内容、事前打ち合わせ</p> <p>2月 参加者7名 収支報告など</p> <p>3月 参加者6名 成果報告会にむけた打合せ</p> |



| | |
|----------|---|
| 事業の成果・効果 | <p>当会ホームページとチラシ配布および口コミによる宣伝活動に加えて、「子供体験塾に行こう！」八王子子ども劇場 JOYCCO 制作のパンフレットに、当会の事業も掲載され日野・八王子の小・中学校に配布されました。</p> <p>八王子市はもちろん市外からの参加も多数あり、我々の事業目的である、使用済材料をつかった物作りを通して、本物の材料をつかった物作りの楽しみを体験して頂けたと思います。</p> |
|----------|---|

| | | |
|------|----------------------------|---|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | <p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | <p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p> |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | <p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>二月に予定していた体験教室は天候不順により残念ながら人が集まらず当初見込みより参加費が下回り、事業費の一部変更が必要となりました。</p> |
| | その他、評価すべき点等 | <p>前年度の反省でもあった宣伝活動は、経験を踏まえ少ない予算の中でできる限りのことを行えたと思うので、今期以上の参加人数の確保は予算の見直しから必要だと感じました。</p> |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

| | |
|---------|--|
| 今後の事業展開 | <p>これからも予算が許す限り「家族で楽しむ物作り」体験教室を開催していく予定です。</p> |
|---------|--|

平成22年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

| | | | |
|-----|-----------------|------|----------|
| 事業名 | 要約筆記啓発講座 | | |
| 団体名 | 八王子要約筆記サークルそらの会 | | |
| 事業費 | 101,410円 | 補助金額 | 100,000円 |

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・内容 | <p>目的</p> <p>中途失聴・難聴者への理解を広げ、その支援方法の一つである要約筆記のニーズや有効性を市民に啓発する「要約筆記体験講座」を開催する。目的1. 要約筆記を啓発し、専門的技術を身につけるための市の「要約筆記者養成講習会」受講へ繋げる。目的2. 聞こえない人への理解を広め、誰にでもできる支援方法（筆談）の重要性を伝える。目的3. 要約筆記サークル「そらの会」の存在意義を伝える。</p> |
| | <p>内容</p> <p>聞こえない人への支援方法である要約筆記を体験できる「要約筆記啓発講座」を開催する。</p> <p>1. 講座の中で、中途失聴・難聴者の支援方法「要約筆記」の有効性を知らせ、専門的技術の必要を体感する。2. 講座の中で中途失聴・難聴者の体験談を聞き、中途失聴・難聴者への理解を深める。3. 筆談ボード作りをし、そのボードを使って筆談体験をする。それによって、聞こえない人への身近な支援方法を知る。4. 市内唯一の要約筆記サークルの活動内容を紹介する。</p> |

| | | |
|---------|---|--|
| 事業の活動実績 | 4月～5月 | 第1回講座開催に向けて準備期間 |
| | 6月5日 | 前年度の事業の成果報告会に参加する。 |
| | 7月4日 | 第1回「要約筆記体験講座」～あなたにもできる ペン1本から身近なサポート～ 開催（アンケート実施） 14名受講、八王子中途失聴・難聴者友の会参加協力8名 |
| | 8月20日 | 八王子市主催要約筆記者養成講習会（全54回108時間）開催25名受講 |
| | 9月～10月 | 「生涯学習フェスティバル」参加に向けて準備、そらの会Tシャツ作成。 |
| | 10月15日 | 「生涯学習フェスティバル」に参加、中途失聴・難聴者への理解の周知、及び「要約筆記」の体験コーナー、聞こえクイズ、筆談ボード作り、実施。 一般参加者延べ129名、筆談ボード作り体験者41名、友の会8名。 アンケート実施 |
| 11月～2月 | 第2回講座開催に向けて準備期間 | |
| 2月20日 | 第2回「要約筆記体験講座」 ～聞こえなくなったらどうするの？今からできることを始めよう～ 開催 15名受講、八王子中途失聴・難聴者友の会参加協力8名 アンケート実施 | |



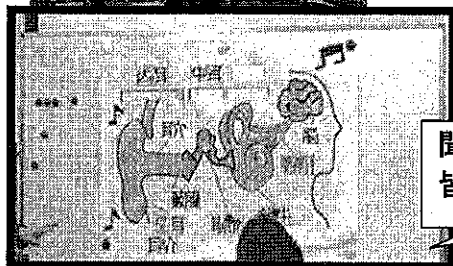
講座風景
みんな真剣



ブルーの
そらの会
Tシャツ



筆談ボード作り
筆談体験



聞こえの仕組みを
皆で学習

| | |
|----------|---|
| 事業の成果・効果 | <p>*第1回「要約筆記体験講座」～あなたにもできるペン1本から身近なサポート～ 今回は「要約筆記」の方法の一つである「ノートテイク」に焦点をあてた。1. ノートテイクは教育の場や病院、会議等での中途失聴・難聴者の支援に大いに有効な技術であることを学習。2. 筆談ボード作りを取り入れ、自分で作ったボードを使って筆談体験をする。参加者は筆記体験を通して、筆談とノートテイクの違いを知り、その方法を学び、専門的技術習得のために継続した講座受講が必要であることを理解した。その結果、8月から開催された「要約筆記者養成講座(全54回108時間)」へ繋げることができたと自負している。</p> <p>*第2回「要約筆記体験講座」～聞こえなくなったらどうするの？ 今からできることを始めよう～</p> <p>今回の講座では中途失聴・難聴者への理解と文字支援をより身近に感じてもらえる内容にした。1. 聞こえの仕組みを知り、自分の耳に関心を持つこと。2. 難聴者の体験談を通して、その困難さを自分に引き付けられること。3. トータルコミュニケーションを知ることで様々なコミュニケーション方法を知ること。この3つに重点を置いた。</p> <p>今回も「筆談ボード」作りを実施し、マイボードを使って、難聴者と筆談体験をした。楽しみながら筆談でコミュニケーションすることで、文字支援の有効性を体感できたと思う。また、「要約筆記」の方法の一つである「OHP」を使っての全体投影(情報を大勢で共有できる方法)を知り、筆記体験をすることで、専門的な技術習得が不可欠であることを学んだ。今後の専門的講座の受講に繋げることができたと確信している。</p> <p>*2回の「啓発講座」開催は、難聴者への理解、「要約筆記」の啓発、当会の活動のアピールのために多大な効果があったといえる。今後は、講習会修了者から、共に協力し合って活動する仲間が増えていくことを大いに期待している。</p> |
|----------|---|

| | | |
|------|----------------------------|--|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | <input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ) |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | <input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ) |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | <input type="radio"/> 1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 会場が予約できなかったため、心身障害者福祉センターを使用した。「そらの会」をアピールするため手作りTシャツ作成。その複写紙の一部を使用した。猛暑の開催時、熱中症予防のための飲み物を準備した。 |
| | その他、評価すべき点等 | 要約筆記を市民に啓発し、要約筆記の専門的技術の習得のために、8月開催の要約筆記者養成講座の参加へとつなげることができた。筆談ボード作りと筆談体験を通して、難聴者への身近なサポート方法の理解の輪が広がった。そらの会への理解も深まり、入会者があった。 |

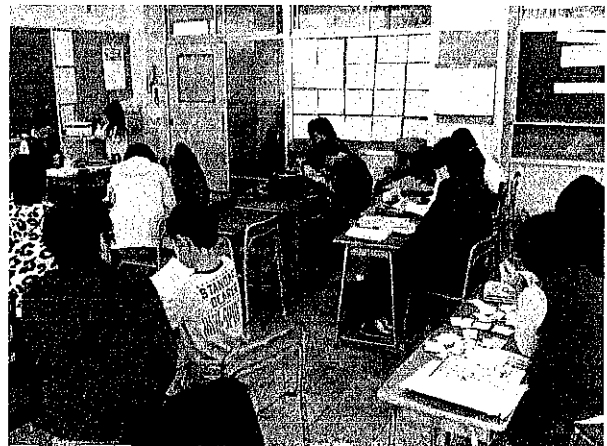
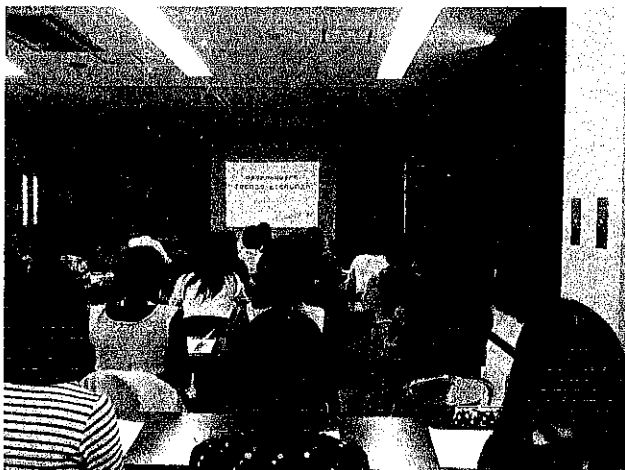
※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

| | |
|---------|---|
| 今後の事業展開 | <p>1. アンケート結果から参加者の反響を知ることができ、啓発することの重要性を再確認できた。</p> <p>2. 聞こえない人への理解と要約筆記の必要性の周知は今後も続けていくべき事業であると確信した。上記の理由から今後は市の「要約筆記者養成講習会」の入口として「要約筆記体験講座」の開催は必要不可欠のものとする。よってこれからも、心身障害者福祉センターや当事者団体である「八王子中途失聴・難聴者友の会」と協力して、聞こえない人の支援や「要約筆記」の啓発講座を継続して開催できるように働きかけ、また自力開催を視野に活動をしていきたい。</p> |
|---------|---|

| | | | |
|-----|----------|------|---------|
| 事業名 | ボレポジさぼーと | | |
| 団体名 | ボレポジさぼーと | | |
| 事業費 | 260,518円 | 補助金額 | 95,000円 |

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・内容 | <p>目的</p> <p>発達障がいのお子さんを育てているお母さんの不安、とまどい、困り感に寄り添い、ともに考え知恵を出し合う。</p> <p>集団の中での学習の躓きを見取り、個別に焦点を当て、ゆっくりと学習し、自信をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> この事業を通して、団体や活動内容の周知をはかる。 |
| | <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援を必要とするお子さんをもっているおかあさんの相談にのる。 特別支援を必要とするお子さんの学習支援をする。 |

| | |
|---------|---|
| 事業の活動実績 | <p>4月～7月 保護者の相談 6回 由木中央市民センター</p> <p>学習支援 10回 由木西小学校・鹿島小学校</p> <p>8月 夏季休業中寺子屋 2日間 由木中央市民センター</p> <p>9月～12月 保護者の相談 7回 由木中央市民センター</p> <p>学習支援 14回 由木西小学校・鹿島小学校</p> <p>1月～3月 保護者の相談 5回 由木中央市民センター</p> <p>学習支援 9回 由木東市民センター</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> 保護者の相談では、延べ人数が38人。 学習支援の参加者が増えてきている。多いときは18人を超えることがあり、のべ378人の支援を行った。 補助金事業として、角田みすず先生の講演会を開き、50人を超える教師や保護者の参加があった。 明星大学星山研究室主催の夏休みの教師のための研修「特別支援を本気で学びたい先生のための講座」をお手伝いして、小中学校の先生方50人弱の参加者を集めた。 夏休みなどの長期の休業中に寺子屋を開催した。 |



| | |
|----------|--|
| 事業の成果・効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい児を抱えたお母さんの悩みや相談にスピーディにのることができ、お母さん方が元気になり、次の一步を踏み出せるようになった例が多かった。また、いき詰っているお母さんが安心して本音で語り、涙を流して語るができる場になった。そのことによって、お母さんがこどもを本当の意味で受け入れることができるようになった例もある。 ・同じ悩みを持つ親同士が情報交換しながら、お互いが元気をもらいあう場にもなれた。 ・集団では、荒れてしまう子が、丁寧な個別学習により、学習の躓きを克服し、自信を持って学校生活に取り組めるようになった。 ・自信をなくし、自己肯定感が低かった子どもが、安心して受け入れてもらえる場として心をほぐし、表情が豊かになっていった。 ・不登校の中学生の学校との関係を改善していくために、松の実学級の授業参観などをして、学校とも連絡を取ることができた。 <p>また、病院や通級の先生や見守りの方との4者での話し合いを持つことも出来た。</p> |
|----------|--|

| | | |
|------|----------------------------|--|
| 自己評価 | 事業は申請どおり実施できた | 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) 講師の入院により、時期をずらして他の講師で実施した。 |
| | 事業の実施によって、期待した効果をあげることができた | 1 <u>できた</u> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ) |
| | 実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について | 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) ・予定していた講演が講師の入院により、時期をずらして、他の講師によって行った。参加料金を半分にしたために、計画よりも収入が減った。 |
| | その他、評価すべき点等 | ・全くのボランティアであり、持ち出すことも多かったが、支援者としての賛同者が少しずつ増えてきている。 ・ボレポジの支援を必要とする児童、生徒の人数が延べ85名増えてきた。 |

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

| | |
|---------|---|
| 今後の事業展開 | <p>今後は、退職教員に参加を呼びかけ、即戦力になる学習支援者を募っていきたい。 また、教育関係の仕事を考えている学生の研修の場として、参加を呼びかけていきたい。</p> |
|---------|---|